

千房が業界に先駆け
フードダイバーシティ対策を強化
食事制限者の方々に、大阪食文化を体感できる環境を整備

■フードダイバーシティ対応を強化

1973年大阪千日前で誕生したお好み焼専門店「千房」を軸にお好み焼、鉄板焼業態を展開している千房ホールディングス株式会社(本社:大阪市浪速区、代表取締役:中井政嗣)は、多くの方々に大阪食文化の素晴らしさを体感していただくための一環として、フードダイバーシティ(食の多様性)対応の強化を図ってまいります。

■日本食のニーズが爆発的に拡大

2017年の訪日客は、前年比19.3%増の2869万1000人、消費額も4兆4161億円と、どちらも過去最高額を記録。中でも弊社の事業基盤のある大阪は、2017年度の訪日客が1111万4千人と訪日客の1/3を占め、5年連続で最多を更新。消費額も初めて1兆円を突破するなど、多くの訪日客で賑わっています。当店にも数多くの訪日外国人のお客様がご来店されており、日々来店者数が増加をし続けております。

訪日客の来日動機の7割が「日本食を食べる事」であり、とりわけ大阪は「食の都」「食のメッカ」として、海外でも認知されていることから、訪日客の食に対する期待が他の都市以上に高い傾向にあります。

大阪では、来年に開催されるG20をはじめ、今後国際的なイベントも数多く予定されており、更に多くの訪日客で賑わうと予測されています。この機会に多くの方々に大阪の食文化を体験いただき、認知度の向上や理解促進、日本の食文化の素晴らしさを体感していただける機会が増えることが期待されています。

しかしこうしたニーズがある一方、“日本食を食べたくても食べる事の出来ない方々”、日本ではマイノリティーであるものの、今後急速に増加が見込まれている方々への対応が急務となっています。

■食の多様性対応でより多くの方々に日本食を提供

弊社では、健康上の問題や、主義や宗教上の理由などで食事制限者をしている方々からの、日本食を食べてみたいという高いニーズに対応するため、食の多様性に配慮した対策を業界に先駆けて強化いたします。

強化対策の一環として、昨年(2017年)にはグルテンフリー商品を開発、店舗での提供を開始。本年(2018年)にはグルテンフリー対応冷凍食品開発、販売を開始。本年度中にフードダイバーシティ対応店舗を大阪で開店、ハラル対応メニュー開発と店舗での提供開始、ベジタリアン対応メニューの開発と店舗での提供開始を計画しております。また来年度(2019年)には、ハラル対応冷凍食品メニューの販売開始、ベジタリアン対応冷凍食品メニューの販売開始などを計画しております。

弊社ではこうした対応で、より多くの方々に日本食を召し上がる機会を増やし、日本食の素晴らしさを体感頂くことで日本食の魅力を世界に発信していきたいと考えています。

■国際化の推進で日本食文化の定着を目指す

弊社では、国際市場での活動を促進するため現在国際化を推進しております。海外への出店とともに、国内での訪日客対応を連動させシナジー効果を上げるべく具体的な施策を積極的に推し進めております。その一環がフードダイバーシティ対応となります。

今後、弊社のキラーコンテンツであり大阪食文化の代名詞でもある”お好み焼”を軸に、国際市場で戦えるメニューの開発、業態へブラッシュアップを続け、海外での日本食文化とともにブランドの定着を目指します。

また既存の外食事業を核とし、国際市場での業容拡大も視野に国際化を進めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>
千房ホールディングス株式会社
経営企画室 橋川(キツカワ)
TEL:06-6633-1570

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目10番4号南海野村ビル9F
E-Mail:kitsukawa@chibo.com URL:http://www.chibo.com



<千房グループ概要>

■千房ホールディングス株式会社

所在地: <本社> 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中
1丁目10番4号南海野村ビル9F

TEL:06-6633-1570

創業: 昭和48年12月

設立: 昭和49年11月

代表取締役: 中井政嗣

資本金: 48,000,000円

■千房株式会社

屋号: 「千房」「エレガンス千房」「ぶれじでんと千房」など

所在地: <本社> 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中
1丁目10番4号南海野村ビル9F

TEL:06-6633-1570

創業: 平成17年4月

代表取締役: 中井政嗣

資本金: 50,000,000円

事業内容: 直営、FC店舗運営

Web Site: <http://www.chibo.com>

NEWS RELEASE